

# アート・フォー・Kids

BO  
そして母になる。  
赤ちゃんを知る。  
GAKU



生音楽絵本「幸せの王子」



令和大子ども歌舞伎

入場無料

## 第四回母学会議

2019年9月14日(土) 15日(日)

マルキューブ

〒100-6307 東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビル 1階

総合プロデュース：伊東 順二（東京芸術大学社会連携センター特任教授、総合プロデューサー）

主催：東京芸術大学社会連携センター、  
東京芸術大学 COI 拠点  
文化外交・アートビジネスグループ

共催：アッソリカ育児研究所  
協賛：三菱地所株式会社

先着 20 名さまに小林登著『母学』を進呈

丸ビル

新丸ビル



東京駅より地下で直結、  
徒歩 3 分以内



Produced by  
TOKYO GEIDAI Junji Ito



Aprica Childcare Institute



VOICE!



Marunouchi

# 赤ちゃんを知る。そして母になる。

この母学会議

の始まりは、20年ほど前に、アプリカの葛西健蔵さんとの出会いから始まりました。戦後、日本の次世代、後輩のことを考えて、非常に致死率の高かった胎児から3歳までの赤ちゃんのことを思って、手塚治虫さんたちと、赤ちゃんたちを幸せに育てるためにどのようなことをしたらいいのかということの内藤寿七郎先生と話されて、子どもの命と心を守る温かい心を育む運動を展開されました。20年前にお会いしたときに葛西さんは、「それは芸術にも通じるのではないか、芸術こそ、赤ちゃんの心を育む上で大切なことではないか」ということで、「伊東さん、いつか芸術のほうから見た、もしくは芸術の方でこのような運動を始めてくれないか」と言われました。そのような葛西さんとの約束の中で、幾つかのことを考えました。ひとつは、小林登先生が出された「母学」という本をテーマにできないかということです。小林登先生の大著であり、赤ちゃんを科学的に見て、その科学の上に成り立つ感性の方までを言及されて、どのように育てるべきか、どのような環境を作っていくべきかということ語られております。この本をベースに会議を開こうと決意し、小泉英明先生、仁志田博司先生にも参加していただいて様々なテーマで会議を行い、赤ちゃんのために新しい知見と表現を提供しようとして企画してきました。また、東京藝術大学に集まった様々な異なる才能と外部の才能をひとつの想いにした作品を制作し、赤ちゃんたちに届けようということ考えたのです。それが「おまもりうた」や「赤ちゃんのためにやさしいまちづくり」、「夢のゆりかご」プロジェクトです。マザーとはすべてを生み出す母体をも意味しています。今回「夢のゆりかご」発表と、地域に根ざしたこどものための芸術活動である「こども歌舞伎」、そして芸大生よる生で披露する絵本プロジェクトなど様々な分野をまたいで母学の領域をさらに広げたいと思っております。これらの試みがさらに大きなVOICEとなることを願っています。

赤ちゃんを知る。



そして母になる。



## 小林 登

東京大学名誉教授、国立小児病院名誉院長、「母学」著者。世界小児科学会会長も務めた小林は、「日常生活のなかに優しさがなくなったとき、社会、ひいては国家が大きな問題を引き起こすように思えてならない。社会に優しさを取り戻すには、赤ちゃんのとときから優しさを体験でき、生きる喜びいっぱいになることに尽きる。」と語り、現代社会に警鐘を鳴らす。



母学会議 総合プロデューサー

## 伊東 順二

東京藝術大学特任教授。美術評論家。アート、音楽、建築、都市計画など分野を超えたプロデュースを多数手がける。1995年「ベニス・ビエンナーレ」日本館コミッショナー。2005年～13年富山大学教授。08年～12年「金屋町楽市」実行委員長。前長崎県美術館館長。パリ日本文化会館運営審議委員。富山市ガラス美術館名誉館長。

9月14日(土) 14:00-15:45

14:00-14:05 開会の挨拶 (5分)  
伊東順二(総合プロデューサー)

14:05-14:20 基調講演 (15分)  
小泉英明(公益社団法人日本工学会アカデミー上級副会長)  
「幼児期の感性教育の必要性について」

14:20-14:35 オープニングディスカッション (15分)  
伊東順二(総合プロデューサー)  
新井 晴み(女優)  
大林和子(若葉会幼稚園園長)  
葛西 康仁(アプリカ育児研究所)

14:35-15:45 生音楽絵本「幸せの王子」 (70分)  
出演・協力:総合芸術団体 SPICA

9月15日(日) 14:00-15:30

14:00-14:05 主旨 (5分)  
伊東順二(総合プロデューサー)

14:05-15:25 令和大子ども歌舞伎 (80分)  
出演・協力: NPO法人伝統文化みらい塾

15:25-15:30 閉会の挨拶 (5分)  
葛西康仁(アプリカ育児研究所)

## 新井 晴み

1977年NHK朝の連続テレビ小説「風見鶏」ヒロイン、エランドール新人賞受賞、産業カウンセラー 日本文芸家協会会員、2010年法政大学キャリアデザイン学部総卒業、1992～2000年イタリアと日本で暮らす。2006年福島県郡山市「いのちのでんわ」開設記念に一人芝居「エリカ」公演。2010年NHK「みんなのうた」「風がきれい」作詞。

## 大林 和子

若葉会幼稚園園長。父の転勤により、年中から小2までイギリスのロンドン、高1から大1までオーストラリアのメルボルンで過ごす。日本に戻り、慶応義塾大学大学院社会学研究科(心理学)を卒業。フルタイムマザーを経て、2002年から若葉会幼稚園講師、2009年から現職。3人娘の母。

## 葛西 康仁

1953年、大阪生まれ。上智大学卒。アプリカ育児研究所代表取締役社長。世界で初めて生まれた「父が子供を抱きしめる服ベルバ」でイタリア コンパッソ・ドーロ賞フアナルノミネート、ADIデザインインデックスに掲載される。マスメディア広告では2002年から5期連続で毎日広告デザイン賞。広告電通賞など受賞歴多数。2017年 新「育児の原理」角川ソフィア文庫、クリエイティブディレクター兼編集者を務める。

## 小泉英明

東京大学教養学部卒(理博)。現在、日本工学会アカデミー上級副会長/国際委員長、東大先端科学技術研究センターフェロー/ボードメンバー、日立製作所名誉フェロー、欧米・中国の諸研究機関でボードや名誉教授を兼務。日立製作所役員、同基礎研究所所長、日本分析化学会会長など歴任。環境・医療分野で多くの新計測原理を創出し社会実装。大河内記念賞・米R&D100賞他受賞多数。編著書に『脳科学と芸術』他。

## 生音楽絵本

手の中におさまる絵本では感じられない感動を。美しい朗読と生演奏、そして大きな挿絵が調和し、さらに物語を素敵にお楽しみいただけます。

## 令和大子ども歌舞伎

こども歌舞伎でお稽古に励んでいる、小～中学生のこども達による上演です。今回は歌舞伎の代表的な演目「白浪五人男」をご覧いただきます。五人の盗賊が追い詰められるも立派に名乗りをあげるという場面です。



昨年の母学会議の様子